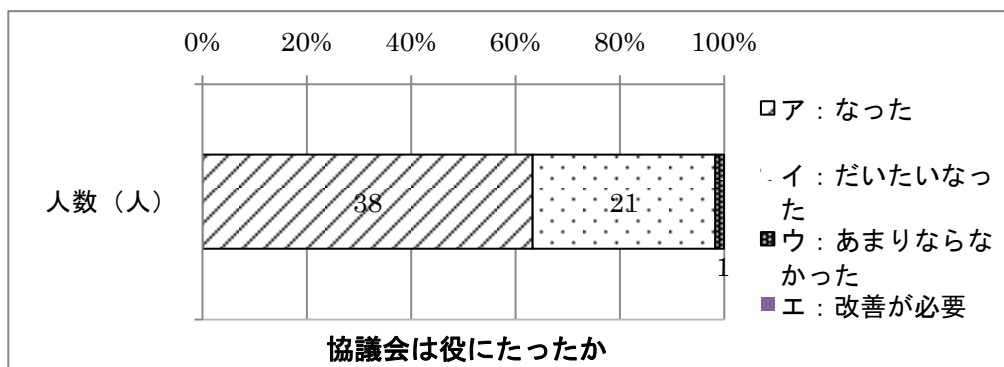


参加者内訳

| 研究主任経験年数 | 人 数 |
|---------------|-----|
| 1年目 | 17名 |
| 2～3年目 | 17名 |
| 4～6年目 | 12名 |
| 7年目以上 | 3名 |
| その他(代理出席・未記入) | 11名 |

1 本日の協議会は、あなたにとって役に立つものとなりましたか。

| 感 想 | 人 数 |
|-------------|-----|
| ア:なった | 38名 |
| イ:だいたいなった | 21名 |
| ウ:あまりならなかった | 1名 |
| エ:改善が必要 | 0名 |



2 (1)ア(役立つもとなった),イ(役立つものとだいたいなった)と答えた人:どのような点ですか。

- ・ 〈学習プロセスの再確認〉 〈各学校における成果と課題〉 →本校の研究の参考にしたい。
- ・ 言語活動を中心にした活動実践を知ることができ、大変ためになりました。
- ・ 研究推進の具体的な方策や、研究の要となる理論や考え方がよくわかった。
- ・ 特にこれまで、言語活動を意識した研究をしてこなかったが、今後、様々な教科で、言語活動を意識した取り組みをしていく必要があると思った。
- ・ 研究授業の指導案の項目の立て方。授業後のまとめの仕方。目指す生徒像、授業像。
- ・ 研究推進のための方策や内容、概念のとらえ方・練り方が非常に参考になりました。
- ・ 五橋中の発表で、学習のプロセスを生かした授業づくりについて、各教科の実践例はとても参考になった。
- ・ 校内研究を推進していく上で抱えられる問題点に似通った部分があることが判った。言語活動の意義・目的について、再認識できた。
- ・ 研究主任1年目で、まだまだわからないことばかりです。今回の協議会で、「思考」「発信」「交流」「再考」「発信」の流れがイメージでき、少しわかったような気がします。鶴中でも全員研究授業を行っていますが、A4版で6～7ページの指導案を作っているため、各先生方の大きな負担となっており、授業を「再考」するよりも、最初の段階の「思考」が中心になってしまっています。これは、あまり良くない流

れだということがわかりました。

- 多年度にわたる研究の深め方。研究の焦点化の方法。
- 3校の共同研究校の取り組みは、資料を見ただけではわからない内容を説明して頂き、とてもよかったと思います。グループ協議で、校内研究をすすめる上での課題や有効だったことを小学校の先生からも聞けて、参考になりました。
- 机間指導による子どもの考えの構築、そして再考。
- 研究概要説明（取り組みの紹介）やグループ協議に参加することより、他校の取り組みや新しい視点を獲得することができた。研修体制の構築や進め方について、多くのことを学ぶことができた。
- 言語活動を充実させる取り組みをする上で、どのような学習のプロセスを見通していけばよいのかが明確になった。まずは、自分の考えや思いを表現できるかが、基本になると感じた。
- 取り組みの紹介は、非常に参考になり刺激をうけました。協議の中で、連携の方向性を確認することができたのは、大きな収穫です。次年度に向けて少しでも多く実施したいと思います。
- 研究授業や検討会の持ち方なども、小さなことだが参考にさせていただきたいです。
- 調査研究校の取り組みを聞き、新指導要領への円滑な移行や言語活動の正しいとらえ、充実させるための方法等を学ぶことができました。
- 共同研究校の実践に刺激を受けた。
- 新学習指導要領に合わせた校内研究の見本となる部分も多く、学校に持ち帰り活用できると思います。
- 小中連携して学習していくことの大切さ。継続して指導することの大切さ。
- 学びのプロセスについてや、言語活動の進め方について、資料から参考になりました。また、近隣の研究主任の先生方から、同じような悩みがあることを知り、いっしょに改善策を考えることができたのが、とても収穫でした。
- 五橋中学校の発表はもちろん、小学校の発表の中には、分教室にも参考になる部分がありました。
- 言語活動を通しての児童・生徒の変容の様子が、よくわかった。来年度以降、我が校の校内研究にもしていきたいと思った。
- 小学校でどんなことに力を入れて指導してきているのかが、現在の中1の生徒の様子と重なってきて、「やっぱり」と納得することが、たくさんありました。9年間のスパンで考えることの大切さを感じました。
- 構想と授業研究の実践との関連づけ、及び、他教科との連携のあり方について。
- 教職員全員が授業を公開する際、ねらいに迫るための学習過程であったのか、発問のレベルまで検討できると、授業は変わっていくのではないかと感じました。（中学校においては難しい面がありますが・・・）教科の話をもメモさせるなど、朝の時間を有効活用できるものではないかと感じました。
- 近隣の学校が集まり、情報交換できたのがとてもよかった。小学校との連携は必要だし、大切だと思った。「教育はいま」研究内容が充実している。活用させてもらおうと思う。
- 小学校での、思考力を向上させる手だてが具体的にわかり、参考になった。少しずつ（スモールステップ）でやっていくことが、大切であり、時間のかかることだと感じたが、全職員の視点をあわせることで効率が上がるのがわかり、とてもよかった。今後の課題の視点としたい。
- 特に、今は小学校との連携にも取り組んでいるので、いろいろな学校の実践がわかり、生かせる部分やアイデアが浮かんでよかった。
- 中学校という校種・生徒の実態をふまえ、参考にし、取り入れて行きたいと思う。
- 本校でも、五橋中さんのような学習プロセスを生かした取り組みを、全校で行っています（朝の総合読解という時間を設けて）。今年度、そのプロセスを各教科等の授業づくりにも活かすよう研究しています。まだ、研究途中であるので、五橋中さんの実践を参考にしながら、本校でも具体的な取り組みを探り、来年どの研究を深めたいと思います。
- 各校の具体的な実践がわかった。研究主任さんの熱意が先生方を動かしていることを知り、頑張ろうと思

った。来年度、研究テーマが学力向上から豊かな心づくりに転換しそうなので、その中で言語活動をどう生かせるか、考えてみようと思う。

- 五橋中の北村先生には、昨年夏に本校に来ていただいて、実際に御講話を含め、数々の御指導を受けた。今回の発表を聞いて、改めて、五橋中が努力を積み重ねていることがわかった。本校でも参考にしたいと考えている。
- 今後、言語活動の充実を図っていきたい。提案の授業づくりのプロセスを通して。

2 (2)ウ(あまりならなかった),エ(改善が必要)と答えた人:どのような点ですか。

- 言語活動の充実を学校のテーマに取り組んでいなかったの(秋保の学区)、話がうまくすすまなかった。個人的な授業の取り組みの話で終わってしまったが、小学校と中学校では、うまくつこんだ話ができなかった。学区でまとまるのもよいが、小学校・中学校別でまとまってグループ協議することもお願いしたい。
- 本日の発表の中で、児童・生徒の成果としてあげている部分があるが、どの時点とどの時点を比較したものなのか、また、3年間の研究ということから、3年間継続した生徒とそうでない生徒に違いはあるのかが、知りたかった。

3 本日の協議会を踏まえて、今後言語活動を充実させる指導のために取り上げてほしいことがあればお書き下さい。

- 言語活動の「考える」段階には、知識の蓄積が必要であると考えています。知識・経験の蓄積のための手だてや工夫などについて、知りたいと思います。
- 各学校で推進していくために、各教科の研修会などで「言語活動の充実」とは何か、どのようにすべきかをしっかり示していただきたい。教育センターは私たちにとって、私たちの進むべき方向を照らす「灯台」であってほしいと思います。今後ともよろしく願いいたします。
- より具体的な例を、数多く紹介してほしい。全体的なものばかりでなく、中学校では、各教科で言語活動を高める具体的な指導例を知りたい。
- 言語活動の充実を支えるものの1つは、学校学級が生徒にとって安心して生活できる場であることだと思います。それを踏まえて、職員が協力して研究を進めることができるとよいと思います。
- グループ化のやり方、各教科との連携について。ワークシート・ふり返りシートの作り方のポイント。評価基準の提示のポイントは、評価の方法は？など。
- 机間指導→意図的指名→授業改善
- 1つの教科の中での1年間の流れを具体的に知りたい。
- 言語活動を充実させるためのカリキュラムや、各成長段階での到達目標(小1~中3)
- 評価の仕方(毎時間のノート点検というものがあるようですが、現実的にかなり難しいところあり。効率的なものはないのでしょうか…)
- やはり、様々な学校の取り組みを紹介していただくと勉強になります。よろしくお願いします。
- 言語活動における指導と評価の一体化の観点から、研究及び指導の具体例(他県の実践例なども含めて)
- 9年間のスパンで考える、言語活動の充実を取り上げてほしいと思う。
- 実践例、教科毎の例を数多く取り上げていただきたい。
- 日本以外の諸外国での取り組みに詳しい先生に、いろいろな国の教育についてお話してもらいたい。(国際的な視野で)
- 各教科における言語活動の実践例(集)
- 次年度の夏休みに研修会を考えておりました。より深く、具体的考え方の方向性について、アドバイス・説明していただける機会があれば幸いです。
- 「聞くこと」は「話すこととは」「書くこととは」「読むこととは」言語活動の充実でよく使われ、このようなことについて、深く考えられるようなものがあるといいかと思ひます。
- まだまだわからないことも多く、今後も言語活動に関するセンター主催の研修会を増やしてほしい。